



2023年3月（令和4年度）第1期生が卒業しました。

～食料生産や環境創生の分野で活躍できるスペシャリストを育てます～

## 学科の目標

食料の生産や環境の創生に関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、農業の経営や造園等の環境関連産業に従事できる実践的な能力と態度を育成する。

## 育てたい生徒像

- ・生命の大切さと自然の尊さを理解できる生徒。
- ・産業人としてのマナーを身につけ、組織の中で役割を自覚し周囲から信頼される生徒。
- ・正しい勤労観・職業観を身につけ、社会に貢献できる生徒。
- ・農業や食品、環境などの関連産業の仕事に真摯な姿勢と責任感を持って従事できる生徒。

## 学科の特色ある教育活動

食料環境科では、日頃の学習だけでなく校外・地域での実習や実体験を通じた学習として、次のようなボランティア活動や地域貢献活動へ積極的に取り組んでいます。

## 校外、地域での学習活動

### 小山市青少年クラブ協議会 (4Hクラブ)との交流

地域の若手農業従事者との意見交換会をはじめとする様々な交流を通して、地域農業への理解を深めています。



小山市4Hクラブとの交流  
(情報交換会)

### 在来水稻品種の復活と 水稻農家所得向上を目指した取り組み

かつて栃木県で育種・栽培されていた「栃木愛国3号」を酒米として復活させ、地域水稻農家の所得向上を目指すプロジェクトに下都賀農振事務所、栃農高とともに取り組んでいます。



愛国3号  
ブレ醸造に向けた栽培

### 環境教育に貢献する取り組み

学校敷地内の生物調査をしているなかで発見された野積みされた剪定枝チップの山に棲息する大量のカブトムシの幼虫を学習教材として小学生に提供した。飼育の仕方や成長観察のポイントを指導する等、身近な生物資源を活用した交流活動に取り組んでいます。



カブトムシのチカラは∞